

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム いやしのさと

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 8 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	職員全員で作った理念を職員一人ひとりが自覚していると確信していたが、個人差があり、理念に沿った介護の実践に繋がらない場合もあるので、職員全員が理念を理解し、利用者にあったケアの実践が出来るように取り組む。	毎朝の申し送り時に、理念を出勤職員で唱和したり、職員会議や研修会の中で、理念について話し合い、当ホームが目指す介護の在り方を示した理念を全員が理解し、地域密着型事業所として、地域福祉の拠点になるように取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	2階部分が生活の場になっているので、夜間、夜勤者一人で、9名の利用者を全員安全に避難誘導できる体制を整え、職員間の緊急連絡網を見直し、地域の方の協力体制も要請していく。	夜間想定避難訓練を、夜勤者と頻繁に行い、目標タイムを設け、クリアできるまで訓練し、夜勤者が自信をもって利用者全員を、救助出来る体制を確立していくことと、消防署と連絡を密に取り、2階の一時避難場所を決めて、救助を待つ体制を消防署と共有していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。